

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
470016	X-31-B-1-470016	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
簿記基礎／簿記特論1				山下 功	【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
					【1-3年次生】経営情報学部経営学科	専門	選択	1年
					【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	選択	1年
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択	1年	

授業目的

簿記は、企業規模の大小や業種、業態を問わずに、日々の経営活動を記録・計算・整理して、経営成績と財政状態を明らかにする技能です。「日商簿記検定」は日本で最も普及した会計系資格試験です。この授業を履修することによって、日商簿記検定3級に合格可能な知識を修得することを目標とします。

【関連するディプロマポリシー(学位授与方針)】

【簿記基礎】情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること。

【簿記特論1】情報技術の利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること。

【アクティブラーニングの実施】反転授業を実施します。

各回の授業内容

第1回 【授】 簿記とは 【前・後】 【復習に60分】教科書を事後に読む。	第9回 【授】 帳簿 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の問題と復習テストを復習する。
第2回 【授】 簿記の基礎 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の問題と復習テストを復習する。	第10回 【授】 試算表 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の問題と復習テストを復習する。
第3回 【授】 商品売買 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の問題と復習テストを復習する。	第11回 【授】 決算手続(1) 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の問題と復習テストを復習する。
第4回 【授】 現金預金 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の問題と復習テストを復習する。	第12回 【授】 決算手続(2) 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の問題と復習テストを復習する。
第5回 【授】 手形と電子記録債権(債務)、有形固定資産 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の問題と復習テストを復習する。	第13回 【授】 決算手続(3) 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の問題と復習テストを復習する。
第6回 【授】 その他の取引(1) 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の問題と復習テストを復習する。	第14回 【授】 決算手続のまとめ 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読む。教科書の問題と復習テストを復習する。
第7回 【授】 その他の取引(2) 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の問題と復習テストを復習する。	第15回 【授】 簿記の実務 【前・後】 【復習に60分】事前学習は不要。配布資料を事後に読む。
第8回 【授】 期中取引のまとめ 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読む。教科書の問題と復習テストを復習する。	第16回 【授】 期末定期試験 【前・後】 【復習に240分】全体を復習し、期末定期試験に備える。

成績評価方法

【成績評価】期末定期試験90%、授業中に実施する復習テスト10%で評価します。
 (注) 第8,14,15回のうち1回分をレポートで代替することがあります。その場合、期末定期試験84%、レポート6%、授業中に実施する復習テスト10%で評価します。

【フィードバックの方法】前回の復習テストの解説を行います。

教科書・参考書

教科書として、以下のものを使用します。第1講が始まる前に購入してください。
 滝澤ななみ(2020)『みんなが欲しかった 簿記の教科書 日商3級 商業簿記 第8版』TAC出版, ISBN:9784813285724.
 教材として、拙著『簿記基礎/簿記特論1 予習ノート』を使用します。各自でダウンロードしてください。

受講に当たっての留意事項

この授業では、予習及び復習が充分になされていることを前提としています。
 日商簿記検定で使用可能な電卓を持参してください。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
○	上場企業で経理業務・会計情報システム構築などに従事した教員が、実務経験を基に商業簿記の講義を行っています。	○

学習到達目標

初めて簿記を学習する者が、日商簿記検定3級に合格可能な知識を修得できる。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習